

しまねレクリエーションフェスティバル（浜田会場）

日 時；平成29年11月18日（土）13:00～16:00
会 場；島根県立体育館（浜田市）

スポーツくじ



今年度、浜田会場のオープニングを飾ったのは、「スポーツチャンバラ」です。

【スポーツチャンバラとは・・・】

遊び道具として現代のようなテレビゲームが存在しなかった頃、友だちとの遊びの一つにチャンバラごっこがありました。男の子も女の子もみな、棒きれを探してきては剣に見立ててやっていました。しかし、次第に「危険だ」「怪我をする」などと言われるようになってとともに、遊びも近代化していき、チャンバラごっこをする子どもは少なくなりました。

こうした中、1971年に田邊哲人氏により、より安全に、しかも健康的に、という観点から、小太刀護身道をもとにルールや用具の開発が進められてきたのが、スポーツチャンバラです。

ルールは簡単で、十分な威力で相手の身体のどこでも良いので剣で叩く（斬る）というものです。

1人対1人で行う「対戦」から、1人対多人数、多人数対多人数といった多人数対戦の「乱戦」、より人数を増やして30人対30人や50人対50人の「合戦」といった対戦方式もあります。また、より遊び心を付け加えた30人程度で行い、周りにはいる全員が敵と想定し戦う「サバイバル」（＝バトルロイヤル）もあります。

用具は、面と剣、楯があり、剣は安全と公平さを期すため、全世界共通のエア（空気）を使うエアソフト剣。面は透明アクリル製フェイス、目や耳といった、衝撃に弱い部位を保護するように作られています。また、得物（武器）にも色々種類があり、短刀・小太刀・長剣・杖・棒・槍と、自分の好みのもので選ぶことができます。

当日は、スポーツチャンバラ世界選手権に出場経験のある広島県の田水秀典選手、山口県の片山 諒選手の俊敏な動き、そして、剣で叩いた時のパーンという大きな音に、観客から驚きの声と大きな拍手がわき起こりました。

また、デモンストレーションの後は、参加者が選手と対戦したり、参加した親子で対戦したりといった体験コーナーが催され、大いに盛り上がりました。



スポーツチャンバラの険は思ったより軽かったです。

参加者の声

スポーツチャンバラや車いすバドミントンを体験していくうちに、こういった楽しいスポーツもあったんだと思いました。

【スラックライン】



【車いすバドミントン】



【スポンジテニス】



【ファミリーバドミントン】



【インディアカ】



【スポーツ吹矢】



【バルーンアート】



【フリーポイントオリエンテーリング】



【卓球マシン】



【遊びの広場】



【ニュースポーツ体験】



【ガラポン抽選会】

